



2016.10.29.sat 11:00-19:00

日本全国！地域仕掛け人市 2016 開催報告

10月29日(土)、EBiS303(渋谷区恵比寿)にて「日本全国！地域仕掛け人市 2016」を開催致しました。全国各地から30の地域が一堂に会し、当日は都内各所のみならず全国各地より若手社会人、学生合わせて400名を超える方々が来場されました。イベント冒頭のオープニングセッションでは、本イベントの実行委員として、イベントの企画を行った、佐々倉玲於氏(一般社団法人いなかパイプ)、中川玄洋氏(NPO法人学生人材バンク)、森山明能氏(株式会社御祓川)、日野正基氏(公益社団法人中越防災安全推進機構)、伊東将志氏(株式会社熊野古道おわせ)の5名にご登壇いただき、「今地域で仕掛け人が必要としている人財とは？」というテーマでパネルディスカッションを行いました。なぜ今、仕掛け人市を開催するのか、地方ではどのような人財が求められているのかなどを題材に、実際に地方に暮らし活動する実行委員ならではの視点からの、ユニークでリアルなトーク内容に、会場からは時折笑い声も聞こえ、参加者の方々も聞き入っている様子がみられました。「日本全国！地域仕掛け人市」に対する仕掛け人たちの熱い思いが、会場内の一人一人の心に届く開会セッションとなりました。



オープニングセッション終了後は、いよいよブース交流およびテーマ別セッションの時間が始まります。地域の仕掛人市と参加者が顔を合わせて直接話ができる、お互いにとって、とても貴重な出会いの場です。各地域の仕掛け人は、地域特性を示す資料、衣装や地域産品の試食もあり、五感で地域の魅力を伝えるための様々な工夫を凝らした、個性豊かなブースを用意して参加者を迎えます。会場内は終始賑わいがあり、交流会場のあちらこちらで参加者と仕掛け人の熱のこもったやりとりが多く見られ、両者の真剣な眼差しが印象的な場となりました。



ブース交流会と平行で、隣の会場では出展者が持ち寄った求人テーマごとにくくり、「テーマ別分科会」を実施致しました。各出展地域から1、2名が登壇者となり、「地域×大企業」「林業・農業」など様々な切り口から地域の取組を話します。少人数制の距離の近い分科会では、参加者の方からも質問や意見も多くみられ、2ターム全8セッションは、全て満員御礼。終始大変な盛り上がりを見せておりました。



これまでも地域の仕掛け人は、人と人。そして都市と地域を繋ぐ架け橋となってきました。
今年度の地域仕掛け人市は“より良い地域との出会いを生み出すこと”をテーマに掲げて参りました。
本イベントを通じて、参加者と出展者の皆さまのみに限らず、参加者同士や出展者同士の、今後につながる良き出合いやきっかけが生まれ、各々が想いを実現する一歩を後押しできれば大変嬉しく思います。
参加者および出展者の皆さま、ご出展、ご参加いただき誠にありがとうございました。

●開催概要

- ・ イベント名：「日本全国！地域仕掛け人市 2016」
 - ・ 日時：2016年10月29日（土）13:00～19:00
 - ・ 場所：EBiS303(〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-8 エビススバルビル)
 - ・ 来場者：415名
 - ・ 実行委員会主催団体：
一般社団法人いなかパイプ / NPO 法人学生人材バンク / 株式会社御祓川
公益社団法人中越防災安全推進機構 / 株式会社熊野古道おわせ / NPO 法人 ETIC.
 - ・ 出展ブース：30 団体
 - ・ 出展団体
- 1：下川町産業活性化支援機構タウンプロモーション推進部／北海道下川町
 - 2：肉ラウドソーシング（十勝 19 市町村）／北海道十勝
 - 3：北海道厚真町役場／北海道厚真町
 - 4：Next Commons Lab／岩手県遠野市
 - 5：釜石シティプロモーション推進委員会／岩手県釜石市
 - 6：南三陸移住支援センター／宮城県南三陸町
 - 7：一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0／宮城県石巻市
 - 8：一般社団法人ワカツク／宮城県仙台市
 - 9：一般社団法人 MAKOTO／宮城県仙台市
 - 10：片品村振興公社株式会社／群馬県片品村
 - 11：NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク／栃木県
 - 12：茨城県庁企画部県北振興課／茨城県
 - 13：株式会社温泉道場／埼玉県ときがわ町
 - 14：NPO 法人 ETIC.（中小企業庁「平成 28 年度地域中小企業・小規模事業者の都市部人材確保支援等事業」）／全国
 - 15：NPO 法人 ETIC.（DRIVE 事務局）／全国
 - 16：NPO 法人 ETIC.（ローカルベンチャー推進協議会事務局）／全国
 - 17：新発田市役所／新潟県新発田市

- 18 : にいがたイナカレッジ／新潟県長岡市
- 19 : 能登の人事部／株式会社御碓川／石川県七尾市
- 20.21 : 未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト
(福井市まち未来創造室)／福井県福井市
- 22 : 茅野市観光まちづくり推進室／長野県茅野市
- 23 : 尾鷲市／三重県尾鷲市
- 24 : 京都移住コンシェルジュ／京都府
- 25 : 特定非営利活動法人学生人材バンク／鳥取県
- 26 : WEEK 神山／株式会社神山神領／徳島県神山町
- 27 : 株式会社いそどり／徳島県上勝町
- 28 : 一般社団法人いなかパイプ／高知県四万十町
- 29 : 日南市創客創人センター／宮崎県日南市
- 30 : 株式会社ルーツ／沖縄県

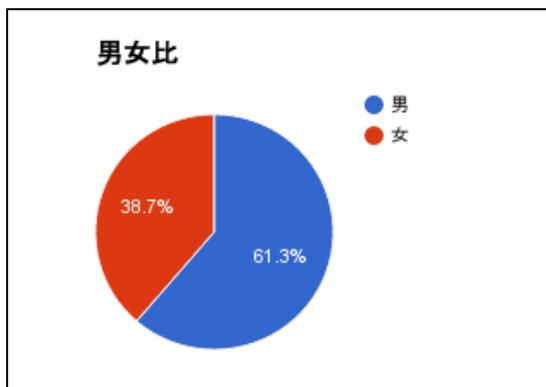
●当日タイムライン

- 10:30 開場・受付
- 11:00-11:30 オープニングセッション
- 11:30-19:00 ブース交流 ※終日開設
- 13:00-14:00 テーマ別分科会 1
- 16:00-17:00 テーマ別分科会 2
- 19:00 終了

アンケート結果

イベント名	日本全国！地域仕掛け人市
調査範囲	2016年10月29日(土)11:00-19:00
参加人数	415名
回答者数	173名
回収率	42%

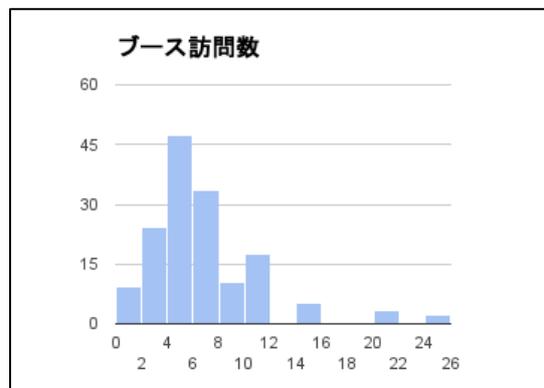
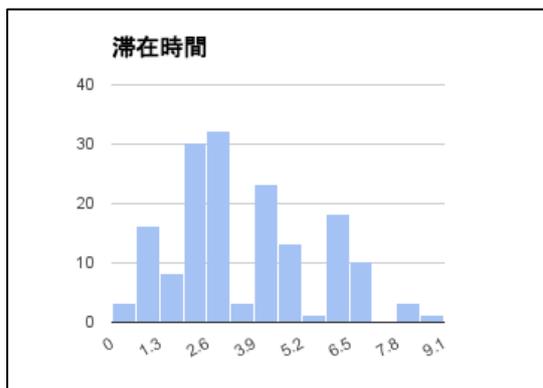
●参加者プロフィール（性別、年代）



参加者の約80%が20代～30代のイベント

例年、参加者は20代～30代の若手人材が占める割合が多い。特に今回は開催時期も影響し、学生層の参加も多く見られた（実数：47名）。

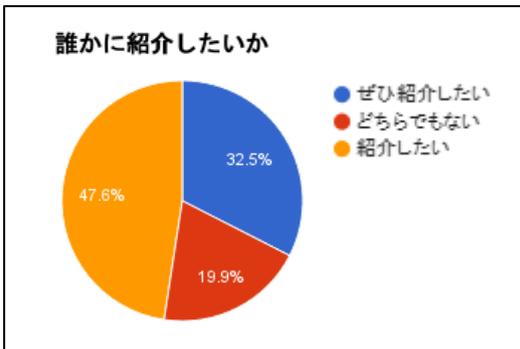
●地域仕掛け人市における当日の行動（滞在時間、訪問ブース数）



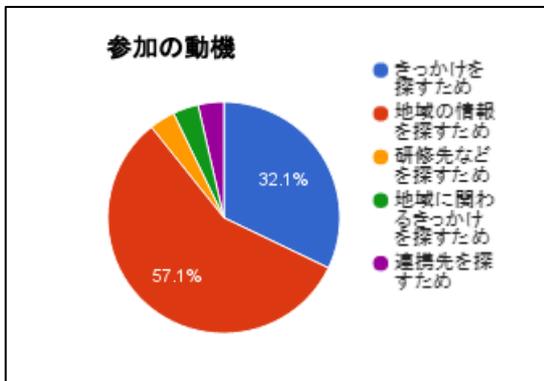
多くの参加者が5~6ブースを見学している。

この結果より、参加者はWEBやテーマ別分科会等の何らかの事前情報で訪問ブースを見極めたうえで、数を絞ってブースを訪問していると考えられる。

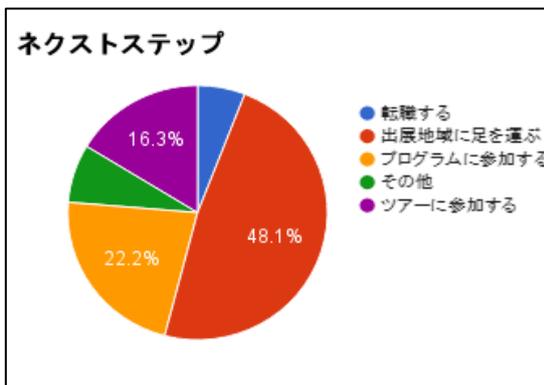
●仕掛け人市を誰かに紹介したいと思うか



●地域仕掛け人市への参加目的・ネクストステップ・どこでイベントを知ったか



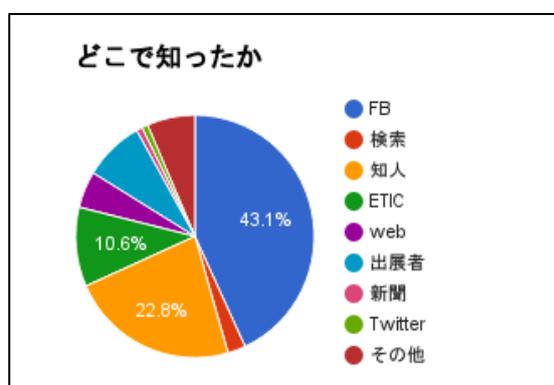
参加の動機は情報収集層が最も多く、57%を占める。



イベント参加後は約半数が地域へ足を運びたいと回答している。

参加後にすぐに移住へ繋がらなくとも、イベントに参加することで、今まで認識の無かった

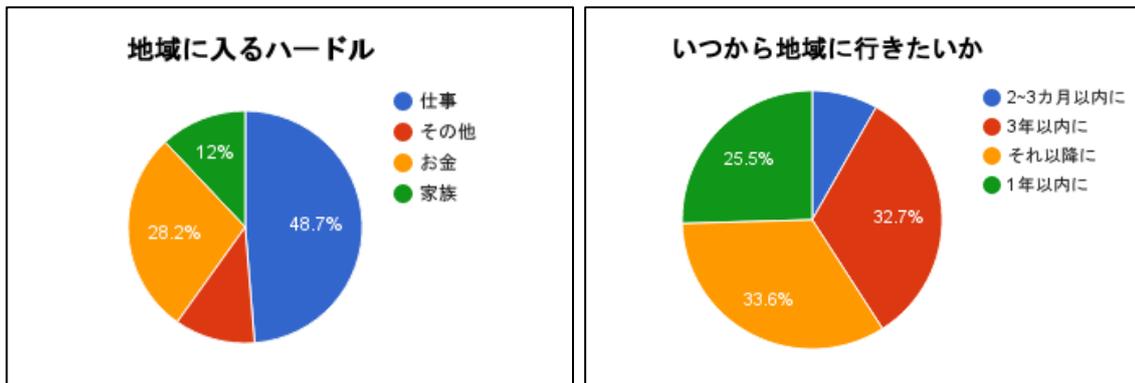
地域に対して興味関心をもつ。その後、実際に地域へ訪問することで、その土地やキーパーソンとなる人材と出会い、いずれは地域での転職・起業に繋がると考えられる。具体的なネクストステップとしては、まずは実際に気になる地域に足を運ぶことが、ハードルが低く歩みだしやすいという意見が多いことより、当日は求人募集案件の他に、地域を訪れるきっかけとなるプログラム案件を紹介する重要性も感じられる。



イベントを知ったきっかけは Facebook と知人の紹介が過半数を占める。

イベントの告知および情報拡散は主に Facebook を中心に実施した。近年は SNS で情報収集をする人が多く、関心分野に合わせた多様な切り口で情報を発信することが必要である（文末の Facebook 記事を参照）。また、アンケート集計結果より、有料広告よりも関係性の強い人づての優良な情報から参加に結び付く傾向が強い。仕掛け人市は実行委員形式で開催しており、東京の事務局からの発信のみならず、全国各地域からの発信、バイネームでの告知も行っていることから、当日は各地域の周りにおける人のつながりが可視化される場にもなり得る。

●地域で働くことに対する参加者の状況



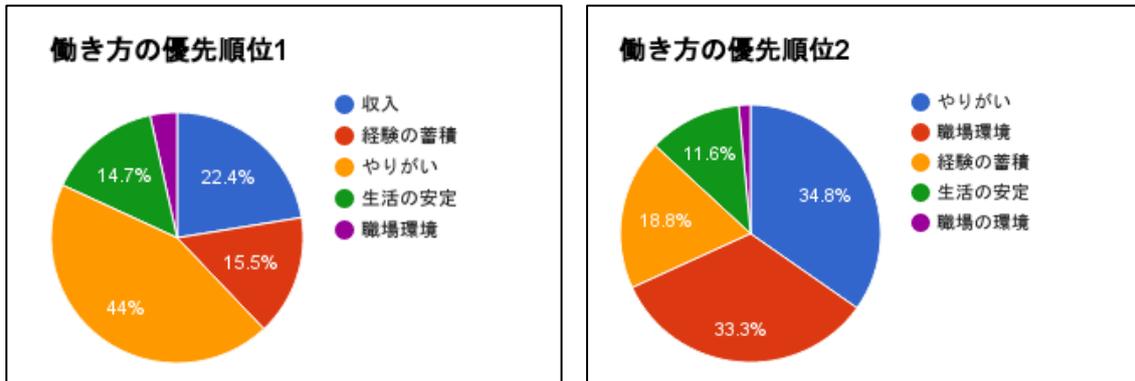
地域に入るうえでハードルとなっているものとしては、仕事(やりたい仕事ができるかなど)が最も多く、次にお金(所得、生活費など)と回答する人が多い。

現在の職業を選択する上でも、やりがいを挙げる人が多い(後述)。

また、参加者の25,5%が一年以内に地域に行きたいと回答している。

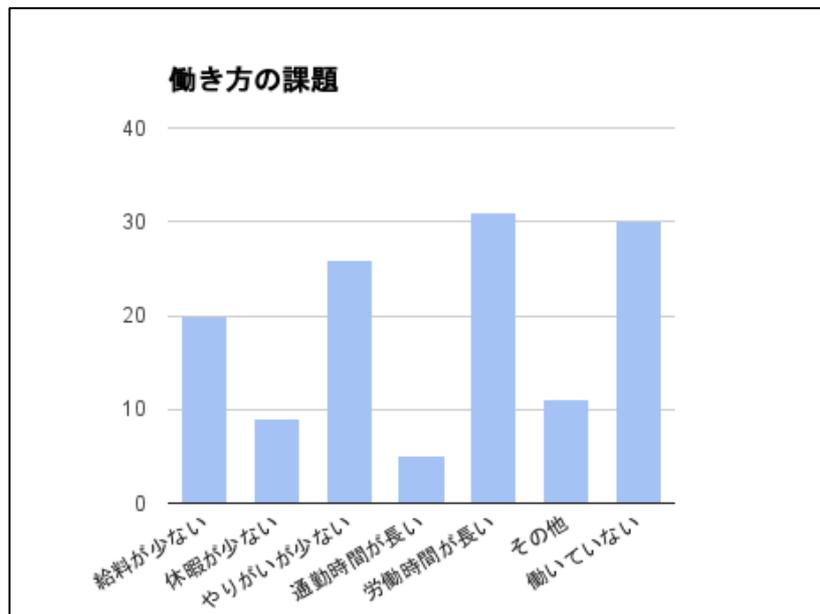
このことより、地域でも仕事にやりがいを感じられるという認識を持たせることができれば、1年以内という短いスパンの中で地域移住を視野に入れる可能性も高くなると考えられる。

●現在の職業を選択する上で優先していること（上位2つ）



全体的にやりがいを求めている。次に収入、経験の蓄積と続く。

●現在の働き方についての課題（当てはまるもの全てに回答）

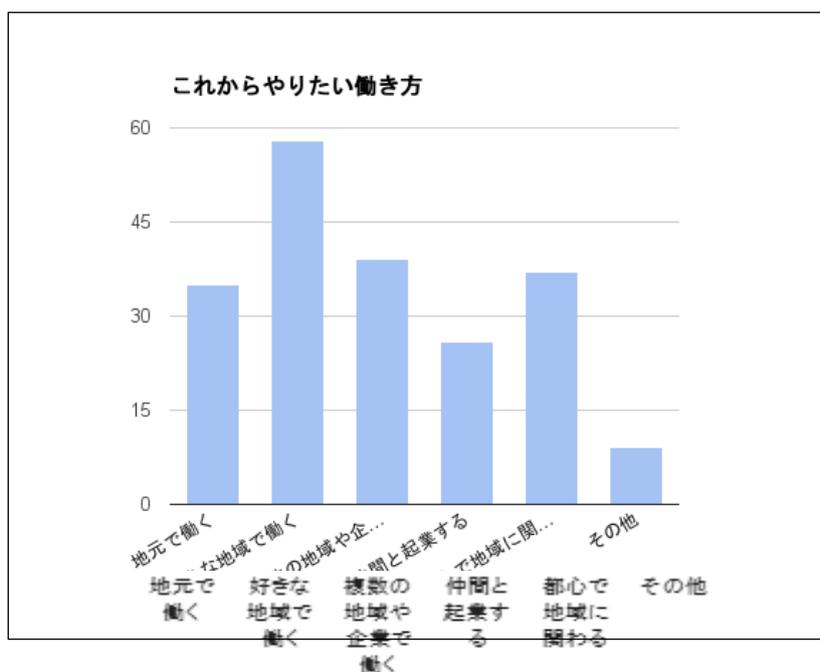


現状で労働時間の長さを課題とする人が多い。

また、仕事を選択する上でやりがいを優先する人が多い一方で、やりがいがないという課

題を抱えている人も多くみられた。

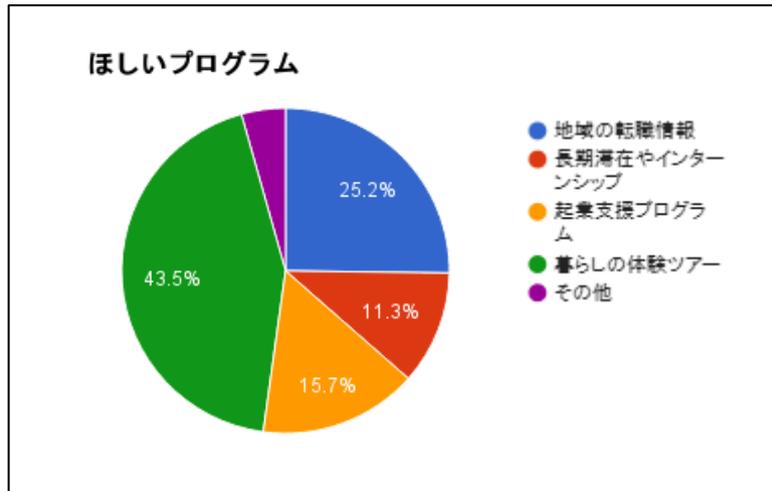
●これから挑戦したい働き方（当てはまるもの全てに回答）



好きな地域で働きたいという人が多い。

地元で働きたいという意見以上に、地元とは異なる好きな地域で働きたいという意見が多いことは、地元への U ターン者をターゲットとした情報発信だけではなく、その地域との関わりを持たない人に対して、いかに魅力を伝え、その地域に来てもらう理由を作るかという視点が重要であることを示している。

●今後地域と関わるうえでどんな情報やプログラムがあったらいいか



暮らしの体験ツアーを望む人が多く、仕事の内容だけではなく、

地域での生活面が高い関心を集めていることが分かる。

●参加者の声（イベント参加前の申込時アンケートより一部抜粋）

これまでの経験や、現在の仕事を活かせる新しい活躍の場を探している人や、

特定の地域に関心があり、イベント参加前から特定の出展団体を調べて参加する人、

また、就職の選択肢として、地域での面白い求人を求めて参加する学生などが見られる。

■参加者：学生／女性

私は建物、木、伝統工芸、農業、まちづくり、コミュニティーなど暮らしに関わる分野

全般に興味があります。大学に入ってから林業に関わる団体に入り、古民家の改修の

お手伝い、インターンなど、自分の中で世界を広げてきました。しかし、将来田舎での

仕事を希望するとなると一体どうやって見つけたらいいのか、絞っていったらいいのか、「？」だらけで悩んでいました。そんな中この地域仕掛け人市を知り、参加しました。まだ詳しい分野は決めきれっていませんが、そのヒントを探すために仕掛け人市です。できるだけ多くの人に出会い、話を聞き仕事に対して現実味を高めていきたいです。

■参加者：会社員／男性

大学卒業後は旅行会社に就職し、〇〇空港勤務。退職後、空間デザインの会社とパートナーシップを結び、文化施設の再建にあたってのリサーチや企画を行っています。その一方で、古民家を地域住民へ開放したイベントを実施しています。地域住民が自らの地域を誇り、よそ者と共に主体的に地域を語り継いでいく文化を創り出すことを目指しています。

■参加者：会社員／男性

〇〇県から出展の「団体名」様に興味があります。私はイギリス出身で現在は船舶関係の技術者として、日々英語を使って業務を行っています。小さい頃に〇〇を訪れており、豊かな自然に触れていくうちに「いつか〇〇に暮らしてみたい」と思うようになりました。プライベートではアウトドアや旅が好きで、これらを企画し、よく仲間と国内外に遊びに行っています。今回〇〇県のプロジェクトが、私の「〇〇に住みたい！」

と「アウトドアと旅でみんなを楽しく、元気にしたい！」という夢とマッチすると思い、是非お話をお伺いさせていただきたく参加を決めました。

■参加者：学生／女性

私は〇〇県に住む大学3年ですが、まちづくりを行う学生団体の運営をしています。5年前の震災で被災した宮城県〇〇市で、まちの新たな魅力となるブランド地野菜を生み出す活動や、まちの新たなスポットづくり、イベント企画・運営など様々なことを行いながら、地域に密着し、まちづくりを行っています。今後自分の進路を考えたときに、地域に入っておもしろくまちづくりを行うような会社や団体に入りたいと考えており、就活をする上で良い出会いがあればと今回の参加を決めました。大学の専攻は政治学ですが、学生団体での活動が影響して、農業や食から行うまちづくりに興味があります。

●出展者の声（イベント開催後の変化）

■出展者①

「イベント後、地域仕掛け人市でブースを訪れてくれたデザイナーさんが、ワークステイ体験をしてくれて、来年地域おこし協力隊になるべく現在応募準備をしてくれている。」

■出展者②

「その後地域で実施したイベントに仕掛け人市参加者が関東から来てくれた」

イベントをきっかけに地域に足を運ぶようになった人や、何らかのプログラムに参加している人、実際に転職や移住を検討している人などの多数の報告を頂いています。ブースで実際に顔を合わせて話をした参加者は、特にその後のつながりも出来やすい様子でした。

●イベント広報の様子（Facebook）

最も集客効果が高いとされる SNS 主に Facebook による告知では、求人紹介の記事、テーマ別分科会の記事、さらには、実行委員である地域のコーディネーターからのメッセージリレーなど、多種多様な角度から記事を投稿した。また、投稿した記事に対して、出展者が「いいね」や「シェア」をすることで、より広範囲に記事を拡散することを目指した。

■掲載記事例

① 求人紹介記事 : <https://goo.gl/AxQIkh>

地域に根ざして働き暮らしたい。仕事をつくりたい。
 そんな思いをカタチにする、
 年に一度の『地域仕掛け人』10/29(土)@恵比寿



地域資源の活用や、地域の課題解決に
 つながるビジネスプランコンテスト開催！
 「余白」たっぷりの茨城県北地域を
 一緒に盛り上げてみませんか？
 30地域の出展団体をご紹介：茨城県庁企画部県北振興課

参加者募集中

＼出展団体ご紹介／茨城県庁企画部県北振興課（茨城県）
 【地域の課題解決につながる最高賞金200万円のビジネスコンペ挑戦者を募集！】
 10/29（土）東京開催・UJターン・転職・起業のきっかけを掴むイベント『日本全国！地域仕掛け人市』ご参加はこちらから→ <http://challenge-community.jp/shikakenin/2016/>

*** 仕掛け人市に出展する団体のご紹介！ブースにはどんな求人・プログラムがありますか？ ***

○プログラム：茨城県北クリエイティブプロジェクト（ビジネスプランコンペティション2016）
<http://www.satoyamalife.pref.ibaraki.jp/kenpoku-biz/>

茨城県北の地域資源の活用や、地域の課題解決につながるビジネスプランを募集する最高賞金200万円のビジネスコンペ！「さとやまビジネスキャンプ」と銘打ったビジネス作成講座で、地元企業者と外部講師、地元起業希望者がコラボし熱いネットワークが形成されております。この熱と地域に根ざして働き暮らしたい。仕事をつくりたい。そんなみなさんがつながり、新しいムーブメントを起こす「最初の一步」を全力で応援します。茨城県北の魅力に触れ、プラン作成の過程で、茨城県北地域のファンになる。

コメントする...

② テーマ別分科会紹介記事：<https://goo.gl/ZNAv79>



地域と大企業の新しい関係性を育むには？
 (10.29地域仕掛け人市分科会vol. 3)

『日本全国！地域仕掛け人市』東京開催

日本全国！地域仕掛け人市
 作成者: 渡辺 はるか (?)
 このページに「いいね！」する - 2016年10月19日

＼分科会紹介vol.3/
 【地域と大企業の新しい関係性を育むには？】

10/29開催、地域仕掛け人市で実施する、8つの分科会のテーマをご紹介！

●【地域と大企業の新しい関係性を育むには？】

今、地域で活動する大企業が増えています。セクター間の壁を超えた新プロジェクトを生んだり、CSV事業を展開したり、人材育成プログラムを実施したりとその形も多様です。そんな地域と大企業の新しい関係性を作るには中間支援の機能が不可欠となっており、岩手県遠野と石川県七尾の取り組みをヒントに関係性を育むポイントを探ります。

●こんな方にオススメ！

コメントする...

③ 仕掛け人リレー（実行委員による参加者へのメッセージ）：<https://goo.gl/W50dah>



【仕掛け人リレー vol.2】

実行委員会事務局さんからバトンを受け取りました
尾崎の伊東将志です。
いよいよ来月と迫ってまいりました。
10.29地域仕掛け人市

<https://youtu.be/qO93ppzq4jg>
<https://www.youtube.com/watch?v=3HFkjlUuyVZ0>

この仕掛け人市をきっかけに地方に飛び込んだ人も
沢山います。
仕事って何だ？ 暮らしてなんだ？

人生の大きな決断をする際、その決断を促すのはいつ
も人で。
優らは迷いながら決めていきます。
正解などなくて、それでもいつもそう信じていること
のできる道を
選んでいます。
仕事を紹介するイベントではなく。
そこに居る人を通じて地方を感じるイベントです。

最初の一步は、ここから。

あなたが重く深く考えていければほど
きっと素晴らしい出会いをこのイベントが提供しま
す。

コメントする...  

タイムラインの写真

写真にタグ付け オプション 投稿の広告を出す シェア 送信 いいね!